

平成26年度

府中市教育委員会点検・評価報告書

(平成26年度対象)



アニメーター 安藤雅司氏による

原画 《タイトル》

9年間の学習成長  
～1年ごとの満喫～

平成27年9月

府中市教育委員会

# 目 次

## I 点検・評価の概要

- i 点検・評価の実施について ..... P 1
- ii 府中市教育委員会における点検・評価の取組について P 2 ~ 3

## II 教育委員会の活動状況

- i 教育委員について ..... P 4
- ii 教育委員会の開催状況について ..... P 5 ~ 7

## III 事務事業の点検・評価の結果

- [結果一覧表] ..... P 8
- i 教委総務課関係 ..... P 9 ~ 13
- ii 学校教育課関係 ..... P14 ~ 20
- iii 生涯学習課関係 ..... P21 ~ 27
- iv 外部有識者による評価 ..... P28 ~ 30
- v まとめ ..... P31

## I 点検・評価の概要

### i 点検・評価の実施について

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、すべての教育委員会においては、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに公表することが義務付けられた。

また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験者を有する者の知見の活用を図るものとされた。

#### ●地方教育行政の組織及び運営に関する法律 (抄)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

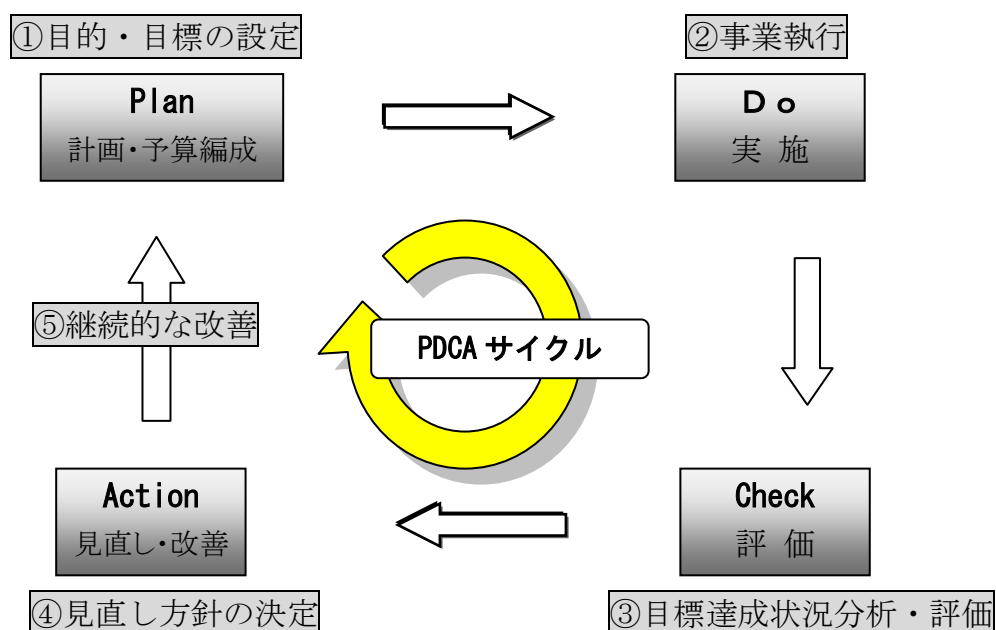
## ii 府中市教育委員会における点検・評価の取組について

### 1 事務事業評価とは

事務事業評価は、事業を実施している所管課が事務事業の現状を把握し、認識した上で、目的を達成するために解決すべき課題を発見し、具体的な改善につなげていく取組である。

その目的は、これまで「計画し、予算を確保し、事業を執行する」ことで終わり、「執行した結果を評価し、次の計画に反映させる」ことがおろそかになりがちであった行政のサイクルに評価を導入し、PDCA（Plan計画－Do実施－Check評価－Action改善）という経営のマネジメントサイクルを確立することにより、計画の有効性と実施の効率性の向上を図ることにある。

事務事業評価制度を導入することにより、事業所管課が事業の成果を組織的、定期的及び客観的に見直し、データに基づく改革・改善を行いやすくなるという効果が期待できる。



### 2 制度導入の目的

#### (1) 成果重視の行政運営

成果重視を基本に事業を必要性、有効性及び効率性などの観点から評価を行い、効果的な行政運営を進める。

#### (2) マネジメントサイクルの確立

教育に係る実施計画等に基づいて事業を実施するだけでなく、評価、検証し、改善を行うことによって事業の効果を高める、いわゆるマネジメントサイクル（Plan計画－Do実施－Check評価－Action改善）を確立し、

限られた財源や人員の有効活用を図る。また、これにより、職員の意識改革に努める。

(3) 市民に対する説明責任の向上

事業の評価結果を市民に公表することにより、行政の透明性を高め、説明責任の向上を図る。

3 点検・評価の対象となる事業

第3次府中市長期総合計画の第3期実施計画内の事業で、教育委員会の主要な事務事業を対象として行った事業について点検・評価の対象とする。

4 対象となる期間

平成26年度とする。

5 点検・評価の実施方法

(1) 教育委員会における点検・評価

事務事業の担当課が自己評価する1次評価と教育委員会全体として総合的に評価する2次評価の2段階で実施する。

(2) 学識経験を有する者の知見の活用

評価の客観性を確保するため、外部の有識者による評価を行う。

学識経験を有する者として、昨年度に引き続き前府中市教育委員会委員長 脊尾咲枝氏及び府中市PTA連合会会長 西宮晴之氏に御意見をいただく。

6 評価方法

事務事業の執行結果について、活動指標、成果指標、事業コストを用いて「目的妥当性」、「有効性」、「効率性」及び「公平性」の観点から評価を行い、今後の事務事業の展開方向を判断する。

7 点検・評価結果の公表など

市教育委員会における点検・評価終了後、その結果を取りまとめた報告書を議会へ提出するとともに、ホームページへ掲載する。

## II 教育委員会の活動状況

### i 教育委員について

本市教育委員会は、人格が高潔で教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5人の教育委員により構成されている。

平成27年3月31日現在

| 職名      | 氏名    | 任期                          |     |
|---------|-------|-----------------------------|-----|
| 委員長     | 田中幸夫  | 平成25年10月1日～<br>平成29年9月30日   | 2期目 |
| 委員長職務代理 | 神田純治  | 平成23年7月3日～<br>平成27年7月2日     | 2期目 |
| 委員      | 井上博昭  | 平成24年12月19日～<br>平成28年12月18日 | 1期目 |
| 委員      | 骨田るり子 | 平成24年12月19日～<br>平成28年12月18日 | 1期目 |
| 教育長     | 平谷昭彦  | 平成25年4月1日～<br>平成28年2月29日    | 1期目 |

## ii 教育委員会の開催状況について

定例会、臨時会など平成26年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

| 開催日            | 出席委員数 | 件名   |
|----------------|-------|--|
| 平成26年<br>4月25日 | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市社会教育委員の委嘱について</li> <li>・府中市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> </ul>   |
| 平成26年<br>5月9日  | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度小中学校で使用する教科用図書の採択に係る府中市教育委員会における採択基本方針について</li> </ul>  |
| 平成26年<br>5月26日 | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市いじめ防止基本方針について</li> <li>・府中市社会教育委員の委嘱について</li> <li>・府中市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> </ul>  |
| 平成26年<br>5月30日 | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市特別職の職員の給与に関する条例及び府中市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他勤務条件に関する条例の一部改正について</li> <li>・府中市特別職等の退職手当に関する条例の一部改正について</li> </ul>   |
| 平成26年<br>6月27日 | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・府中市立図書館協議会委員の委嘱について</li> <li>・府中市学校給食センター運営協議会委員の任命について</li> </ul>  |
| 平成26年<br>8月1日  | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度小学校で使用する教科用図書の採択について</li> </ul>  |
| 平成26年<br>8月11日 | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度小学校で使用する教科用図書の採択について</li> </ul>  |
| 平成26年<br>8月25日 | 5人    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市いじめ防止対策推進協議会等設置条例の制定について</li> <li>・次代の社会を担う子どもの健全な育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律の一部施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について<br/>(ただし、教育委員会の所掌に係るものに限る。)</li> <li>・平成26年度府中市一般会計補正予算(第2号)について<br/>(ただし、教育委員会の所掌に係るものに限る。)</li> </ul> |

|                 |    |   |
|-----------------|----|---|
|                 |    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成27年度使用教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択について</li> <li>・教育財産の取得について</li> </ul>   |
| 平成26年<br>9月17日  | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・部課長等の内申について</li> </ul>  |
| 平成26年<br>9月25日  | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市奨学金貸与規則の一部改正について</li> <li>・府中市社会教育委員の委嘱について</li> <li>・府中市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・府中市教育委員会委員長の選挙について</li> </ul>   |
| 平成26年<br>11月25日 | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育財産の取得について</li> <li>・府中市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について</li> <li>・府中市放課後児童クラブ条例の一部改正について</li> <li>・平成26年度府中市一般会計補正予算（第5号）について<br/>(ただし、教育委員会の所掌に係るものに限る。)</li> <li>・府中市公民館運営審議会委員の委嘱について</li> <li>・給食費の改定について</li> </ul>   |
| 平成26年<br>12月16日 | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市いじめ問題調査委員会規則の制定について</li> </ul>   |
| 平成26年<br>12月25日 | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市いじめ防止対策推進協議会規則の制定について</li> </ul>   |
| 平成27年<br>1月16日  | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正について</li> </ul>   |
| 平成27年<br>1月23日  | 5人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部改正について</li> </ul>   |
| 平成27年<br>2月23日  | 4人 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市職員の給与の特例に関する条例の制定について</li> <li>・府中市教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定について</li> <li>・地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の策定について</li> <li>・府中市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について<br/>(ただし、教育委員会の所掌に係るものに限る。)</li> <li>・府中市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について</li> </ul> |



|                        |           |  |
|------------------------|-----------|--|
|                        |           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市職員に対する退職手当に関する条例の一部改正について</li> <li>・平成27年度府中市一般会計予算について<br/>(ただし、教育委員会の所掌に係るものに限る。)</li> <li>・平成26年度府中市一般会計補正予算(第6号)について<br/>(ただし、教育委員会の所掌に係るものに限る。)</li> <li>・平成27年度使用教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択について</li> </ul>  |
| <p>平成27年<br/>3月24日</p> | <p>5人</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・府中市公民館長の任命について</li> <li>・府中市スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・府中市教育委員会教育長の職務代理者の指定に関する規則の制定について</li> <li>・教育長の職務を行う者の順位に関する規則の廃止について</li> <li>・府中市教育委員会会議規則の一部改正について</li> <li>・府中市教育委員会傍聴規則の一部改正について</li> <li>・府中市教育委員会公告式規則の一部改正について</li> <li>・府中市教育委員会教育長に対する事務委任規則の一部改正について</li> <li>・府中市教育委員会公印規則の一部改正について</li> <li>・平成27年度使用教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択について</li> <li>・部課長等の任免について</li> </ul> |

### Ⅲ 事務事業の点検・評価の結果

#### [結果一覧表]

##### i 教委総務課関係

| 事務事業名                   | 1次評価 | 2次評価 | 備考 |
|-------------------------|------|------|----|
| 通学バス運行业務委託事業            | 現状維持 | 事業改善 |    |
| 学校給食調理、配送及び洗浄委託事業       | 目的絞込 | 事業改善 |    |
| 学校給食センター設備及び厨房機器・器具修理事業 | 事業改善 | 事業改善 |    |
| 府中市歴史民俗資料館改修事業          | 現状維持 | 現状維持 |    |
| 備後国府跡確認・整備・活用事業         | 事業改善 | 事業改善 |    |

##### ii 学校教育課関係

| 事務事業名        | 1次評価 | 2次評価 | 備考 |
|--------------|------|------|----|
| 外国語指導助手招致事業  | 事業改善 | 事業改善 |    |
| キャリア教育推進事業   | 現状維持 | 現状維持 |    |
| 適応指導教室       | 現状維持 | 現状維持 |    |
| 小中一貫教育推進事業   | 事業改善 | 事業改善 |    |
| 学校・図書館教育推進事業 | 現状維持 | 現状維持 |    |
| 不審者情報等配信事業   | 現状維持 | 現状維持 |    |
| 放課後児童クラブ推進事業 | 事業改善 | 事業改善 |    |

##### iii 生涯学習課関係

| 事務事業名                         | 1次評価 | 2次評価 | 備考 |
|-------------------------------|------|------|----|
| 府中市文化センターや公民館を中心とした芸術文化活動の振興  | 事業改善 | 事業改善 |    |
| 府中市生涯学習まちづくり出前講座              | 事業改善 | 事業改善 |    |
| 府中市生涯学習センター活用推進事業             | 事業改善 | 目的絞込 |    |
| 下川辺・南・府中・龍田・西・岩谷・栗生・上下公民館整備事業 | 現状維持 | 現状維持 |    |
| 地域の人材を生かした学習機会の充実             | 事業改善 | 事業改善 |    |
| スポーツグループ・スポーツリーダー育成事業         | 現状維持 | 目的拡大 |    |
| 府中学びフェスタ                      | 事業改善 | 事業改善 |    |

**通学バス運行業務委託事業**

**1 事業の概要**

平成21年4月、久佐小学校と諸田小学校を明郷小学校に、第四中学校を第三中学校に統合した。

また、平成22年4月には、北小学校を明郷小学校に統合し、府中明郷小学校・府中明郷中学校を開校した。これに伴い、統廃合した小中学校の児童生徒の通学をスクールバスで対応する。

さらに、路線バスなどで通学していた河佐地区の児童生徒もスクールバス対応とし、諸田地区児童生徒についても路線バス利用とし、通学定期を市の全額負担とした。

**2 事業の内容**

- (1) 対象 学校統合に伴う児童生徒
- (2) 目的 通学手段の確保
- (3) 手段 通学バス運行－旧久佐小、旧北小、旧四中  
路線バス対応－旧諸田小
- (4) 今後の課題  
通学バスの安全かつ効率的な運行を図る
- (5) 事業費(人件費含む) 32,778千円

**3 平成26年度における取組状況**

| 指標名            | 実績      | 指標名の説明             |
|----------------|---------|--------------------|
| 通学バス運行便数       | 3,125 便 | 府中明郷小・中への運行便数      |
| 通学バス安全・確実輸送達成率 | 100%    | 事故・大幅遅刻なく運行した便数の割合 |

**4 評価結果指摘事項**

**(事業改善)**

おおむね計画通り運行をすることができている。

学校統合から5年経過し、国からの補助制度が無くなった中で、一層効率的な運行ができるような工夫が必要である。

## 学校給食調理・配送及び洗浄委託事業

### 1 事業の概要

学校給食センターにおいて、学校栄養士のバランスの取れた献立による安心・安全な学校給食を、府中市内全12校に安定的に供給するための調理・配送・洗浄業務を専門の業者に委託して行う。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 府中市内全小中学校の児童生徒
- (2) 目的 児童生徒の心身の健全な発達
- (3) 手段 学校給食の調理・配送・洗浄
- (4) 今後の課題

さらなる学校給食の内容向上のため、食育指導と地産地消を推進する

- (5) 事業費(人件費含む) 90,202千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名   | 実績       | 指標名の説明               |
|-------|----------|----------------------|
| 給食実数  | 639,765食 | 供給した給食総数(年間)         |
| 給食実施率 | 100%     | 給食実施日に遅延なく給食を供給できた割合 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

確実に安全・安心な学校給食を供給できており、引き続き安全・安心な学校給食を供給するよう取り組まなければならない。

食べ残し状況が根菜類に多くみられることから、食育指導として、学校と学校栄養士との協議・連携により、調理方法・味付けなどの改善に取り組む。また、給食費の値上げに見合う給食内容の充実を図っていくことが重要である。

## 学校給食センター設備及び厨房機器・器具修理 事業

### 1 事業の概要

給食センター開設8年となり、学校給食を安定的に調理・配送・回収するための設備や厨房機器・器具の修繕・修理を行っていかねばならない状況である。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 給食センター設備及び厨房機器・器具
- (2) 目的 学校給食を安定的な供給のため、給食センターの設備や厨房機器などが常に正常な状態を保つ
- (3) 手段 故障・修理箇所を直ちに修理するとともに、厨房機器の改修計画を作成し計画的に改修していく
- (4) 今後の課題  
事前点検の強化と改修計画に基づいた修理が必要である
- (5) 事業費(人件費含む) 3,699千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指 標 名         | 実 績 | 指標名の説明                                  |
|---------------|-----|---|
| 厨房機器総合点検      | 1回  | 厨房機器の総合点検を行い、故障箇所のチェックと修繕・修理を実施         |
| ボイラー フルメンテナンス | 1回  | 購入から9年経過し、部品の摩耗劣化が著しいため、主要部品を交換し、延命を図った |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

定期的に事前の機器点検を実施し、実効性のある改修計画を作成する必要がある。

## 府中市歴史民俗資料館改修事業

### 1 事業の概要

建物に入った亀裂等の応急的修理を行うとともに、歴史的遺産が集中する出口町等へ移築し、恒久的に公開活用を図る。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 市民の文化的環境の向上を目指し、郷土の誇りと愛着が持てるようにする
- (3) 手段 建物に入った亀裂等を応急的に修理し、恒久的に公開活用を図る。
- (4) 今後の課題
  - ア 応急的修理個所の実施
  - イ 出口町等の恒久的な移築箇所の検討及び経費の検討
  - ウ 備後国府跡の事業進捗状況と連動した総合的な公開活用
- (5) 事業費(人件費含む) 0千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名             | 実績  | 指標名の説明    |
|-----------------|-----|-----------|
| 応急的な修理の進捗       | 20% | 建物の修理実施割合 |
| 恒久的な移築箇所・経費等の検討 | 0%  |           |

### 4 評価結果指摘事項

#### (現状維持)

今年度は予算確保できず、実施できなかったが、当面は、応急的な修理にとどめる一方で、備後国府跡確認・整備・活用と連動した総合的な公開活用を図る必要がある。

貴重な文化財保護のため、将来的に実現可能な移転先の選定を検討すること。

## 備後国府跡確認・整備・活用事業

### 1 事業の概要

備後国府跡を中心とした府中市の埋蔵文化財の発掘調査、整理作業、出土品の収蔵・展示及び普及・研究活動を行う。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 市民の文化的環境の向上を目指し、郷土の誇りと愛着が持てるようにする
- (3) 手段 遺跡の発掘調査、現地見学会・説明会、学習会、研究会などを行う
- (4) 今後の課題
  - ア 備後国府跡の国史跡指定に向け、報告書のとりまとめ等を行う
  - イ 政庁跡など中心施設を検出すべく、発掘調査を引き続き行う
  - ウ 国・県との協議・調整等、国指定に向けた詳細な工程を具体化する
  - エ (仮称)埋蔵文化財センターを整備し、調査成果の活用を図る
- (5) 事業費(人件費含む) 15,466千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名        | 実績 | 指標名の説明                   |
|------------|----|--------------------------|
| 試掘、確認調査の件数 | 2件 | 備後国府跡を確認するために実施した発掘調査の件数 |
| 出土遺物のコンテナ数 | 1箱 |                          |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

平成27年度中に備後国府跡の国史跡指定に向けた意見具申書を文化庁へ提出できるよう、報告書の完成・刊行する必要がある。次の段階として、地権者の指定同意に向けた取組をすること。

**外国語指導助手招致事業**

**1 事業の概要**

ネイティブスピーカーによる生きた英語に触れることにより、確かな英語力と国際理解を深める。

また、コミュニケーション能力を養い、豊かな心を育て、国際社会に的確かつ敏感に対応できる人材を育成する。

**2 事業の内容**

- (1) 対象 市内小中学校の児童生徒及び市立保育所幼児
- (2) 目的 英語に対しての親しみをもち、そこから異文化理解、国際交流に役立てる
- (3) 手段 定期的にALT（外国語指導助手）が学校を訪問し、授業等により児童生徒とのコミュニケーションをとり、身近に外国語に親しみ、国際理解能力を育てる
- (4) 今後の課題  
適切な人材確保を図るよう方法を検討すること
- (5) 事業費(人件費含む) 13,306千円

**3 平成26年度における取組状況**

| 指標名              | 実績           | 指標名の説明                              |
|------------------|--------------|-------------------------------------|
| 外国語指導助手の中学校への配置  | 4校<br>1,070人 | 外国語授業の補助を行った校数<br>その生徒数             |
| 外国語指導助手の小中学校への配置 | 8校<br>1,958人 | 外国語授業の補助を行った校数<br>その児童数             |
| 外国語指導助手の保育所への配置  | 7所<br>1,131人 | 外国語授業の補助を行った保育所数<br>その児童数           |
| 学力指標             | +4.9<br>ポイント | 広島県「基礎・基本」定着状況調査平均<br>通過率(県比較中学校英語) |

**4 評価結果指摘事項  
(事業改善)**

将来的には、小学校英語必須化により外国語指導助手の増員は必要である。当面地域の人材活用等により、外国語に触れる機会を増やす取組をすること。



## キャリア教育推進事業

### 1 事業の概要

地域の教育力を最大限に活用し、中学2年生が5日間の職場体験学習などを通して、キャリア教育の推進を図る。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市内の中学2年生全員
- (2) 目的 生涯のテーマ（目標、夢、希望）を見つけること及び社会的・職業的自立に向け、必要な能力（意思決定能力・人間関係形成能力・将来設計能力・情報活用能力）を育てること
- (3) 手段 日々の教育活動と職場体験学習を主とした取組（オリエンテーション、事前指導、職場体験学習、事後指導など）を結びつけた学習プログラムを作成し、キャリア教育を推進する
- (4) 今後の課題  
各校でのキャリア・スタート・ウイークにおける事前・当日・事後の取組を各校の特長のあるものにしていく必要がある  
また、キャリア教育全体の中に、本事業での取組を生かしていく必要がある
- (5) 事業費(人件費含む) 1, 167千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名      | 実績    | 指標名の説明   |
|----------|-------|--|
| 受入事業所の数  | 133件  |  |
| 実態調査の実施  | 366人  | 事前・事後のアンケート調査の実施対象者数                           |
| 将来に対する展望 | 78.7% | アンケートの「将来の夢や目標は、かなうと思いますか」という設問に肯定的な回答をした生徒の割合 |
| 自己肯定感    | 74.7% | アンケートの「自分のよいところがありますか」という設問に肯定的な回答をした生徒の割合     |

### 4 評価結果指摘事項

#### (現状維持)

学校と事業所との綿密な連携が維持されるよう指導するとともに、継続したマネージャー指導、生徒自身が目的を持ったキャリア教育になるよう、引き続き指導することが重要である。また、中学2年生だけでなく、トータルとしてのキャリア教育の充実を図ること。

## 適応指導教室

### 1 事業の概要

市内の小中学校に在籍している不登校児童生徒などの、社会的自立や学校復帰を支援するため、経験豊富な専門の教育相談員が相談等に応じる。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市内小中学生とその保護者及び教職員
- (2) 目的 市内の小中学校に在籍している不登校児童生徒などの、社会的自立や学校復帰を支援する。
- (3) 手段 不登校児童生徒やその保護者及び不登校児童生徒が在籍する学校関係者の相談に応じる  
また、心の悩みや不安があって、学校へ行けない児童生徒に居場所を提供し、指導・支援を行う
- (4) 今後の課題  
通室児童生徒が増加しており、児童生徒一人一人に応じた取組をしていくための工夫が必要  
また、学校が適応指導教室任せにならないように定期的な連携会議などを計画していく必要がある
- (5) 事業費(人件費含む) 5, 253千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名       | 実績   | 指標名の説明       |
|-----------|------|--------------|
| 相談員数      | 1人   |              |
| 指導員数      | 2.5人 | 適応指導教室(延べ3人) |
| 相談延べ人数    | 417人 |              |
| 適応指導教室入室者 | 5人   |              |

### 4 評価結果指摘事項

#### (現状維持)

引続き、相談員及び指導員と学校・家庭との丁寧かつ経過的な連携により、学校復帰に向けて取り組むこと。また、上下地区での利用も検討する必要がある。

## 小中一貫教育推進事業

### 1 事業の概要

「未来へはばたく府中っ子」の育成に向け、授業改善及び生徒指導などに係る実践的研究を積み上げ、小中一貫教育の内容等の充実を図る。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市内各小中学校教職員
- (2) 目的 義務教育の質の向上を目的に、各校、各学園において授業の改善と授業力の向上を図る
- (3) 手段 大学関係者を招き、小中一貫教育推進に係る進捗状況の分析、評価、授業評価、授業改善について助言を求める  
また、授業参観や協議・検討を行う
- (4) 今後の課題  
ア 学力向上につながる効果的な活用と人材の確保  
イ 協議内容と授業改善等の定着  
ウ 各学園の取組みの充実と市全体の実践研究の積み上げ
- (5) 事業費(人件費含む) 12,906千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名       | 実績           | 指標名の説明                                 |
|-----------|--------------|--|
| 小学校への乗入回数 | 401回         | 中学校区で1年間に乗り入れた回数                       |
| 学力指標      | +3.6<br>ポイント | 広島県「基礎・基本」定着状況調査平均通過率(県比較) ※小中学校合わせた数値 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

文部科学省からは、新たな小中一貫校として自由なカリキュラムも組める方向性も出されているが、府中市では現在全校「6・3制」でどの学校で学んでも同じ教育を行っている。今後の体制作りを検討することも必要である。

## 学校図書館教育推進事業

### 1 事業の概要

学校図書館図書の整備、学校図書館司書教諭の配置、読書活動の推進、学校図書館などを活用した探究的学習を実施する。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 学校図書館図書標準、学校図書館司書教諭及び職員、児童生徒、地域・保護者
- (2) 目的
  - ア 児童生徒の読書冊数・読書時間数の向上
  - イ 学校図書館の利活用による児童生徒の思考力・表現力の向上
  - ウ いつでも児童生徒が本に手を伸ばすことのできる学校図書館の運営
- (3) 手段
  - ア 「子どもの読書活動推進計画」の策定
  - イ 学校図書館図書標準の達成
  - ウ 教育課程全体を通じた学習活動・読書活動の充実
  - エ 司書教諭の積極的命課、学校図書館職員の全校配置
- (4) 今後の課題
  - ア 新学習指導要領実施に伴う新刊図書、調べ学習対応図書の継続的な購入
  - イ 「子どもの読書活動推進計画」の実施と周知
  - ウ 子どもが本に手を伸ばす意欲の喚起と読書環境づくり
- (5) 事業費(人件費含む) 2, 267千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名               | 実績      | 指標名の説明                          |
|-------------------|---------|---------------------------------|
| 学校図書館図書標準の達成      | 2,120千円 | 学校図書館図書の整備を図る際の、各校に充てた金額        |
| 学校図書館図書標準の達成(小学校) | 63%     | 学校図書館図書標準を達成している学校数が、全学校数に占める割合 |
| 学校図書館図書標準の達成(中学校) | 50%     | 学校図書館図書標準を達成している学校数が、全学校数に占める割合 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (現状維持)

「子どもの読書活動推進計画」の実施と周知により学校図書館の充実を図り、引き続き、子どもの読書環境作りを進め、また、市立図書館と学校図書室の連携などを推進し、効果を上げる取組が必要である。

## 不審者情報等配信事業

### 1 事業の概要

保護者をはじめ地域住民に不審者情報、学校行事などを携帯電話のメール機能を利用し配信する。

### 2 事業の内容

(1) 対象 保護者、希望する市民

(2) 目的

不審者情報などを迅速かつ正確に保護者及び地域住民に配信し、子どもの安全確保及び学校と地域のつながりを深め、学校と地域で協力し、安心・安全なまちづくりに取り組む

(3) 手段

携帯電話のメール機能を利用し、希望者に不審者情報や学校行事案内を配信する

(4) 今後の課題

市民の個人情報进行管理するため、情報の漏えい防止に努めなければならない  
また、迅速かつ正確な情報でなければならない

(5) 事業費(人件費含む) 393千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名            | 実績     | 指標名の説明          |
|----------------|--------|-----------------|
| 登録件数           | 4,200件 | 保護者における登録数の割合   |
| 登録件数の増加促進(達成率) | 約45%   | 保護者における登録件数の増加率 |
| 早期の情報提供達成率     | 100%   |                 |

### 4 評価結果指摘事項

(現状維持)

子どもたちを守っていく大切な手段の一つであり、今後も、迅速で正確な情報の発信及び各学校の積極的な活用を促進させていかなければならない。

## 放課後児童クラブ推進事業

### 1 事業の概要

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校1年生から3年生の児童に対し、授業の終了後及び長期休業中に学校等の空き教室を利用して、適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図る。

### 2 事業の内容

#### (1) 対象

- ア 小学校1年生から3年生までの児童で、保護者が利用を希望している者
- イ 保護者が労働などにより昼間家庭にいない者
- ウ 保護者が就労証明書などを提出し、利用料を納付する者
- エ おおむね半年以上利用できる者

#### (2) 目的

児童に対し、放課後施設を利用して、適切な遊びや生活の場を与え、その健全な育成を図る

#### (3) 手段

- ア 放課後児童クラブ実施のため、指導員を置き、児童の健全育成を図るための指導員研修を充実するとともに、施設の安全管理を行う
- イ 毎月保護者に利用料納付書を送付し、滞納があれば保護者に連絡を取るなどの対応をする

#### (4) 今後の課題

- ア 保護者及び児童の利用についてのルール徹底
- イ 指導員確保・環境整備
- ウ 市民ニーズにこたえるための調査及び利用学年の拡充

#### (5) 事業費(人件費含む) 26,284千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名            | 実績   | 指標名の説明等                  |
|----------------|------|--------------------------|
| 利用児童数          | 370人 | 放課後児童クラブ利用児童数            |
| 開設日数           | 263日 | 平成22年度から250日以上開催         |
| 長期休業中時間延長実施クラブ | 9クラブ | 平成22年度から全クラブで8時30分～18時実施 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

平成27年度の法改正により、対象を6年生までに拡大。今後の利用推移を検証し、開設場所の変更等も検討する必要がある。

**府中市文化センターや公民館を中心とした芸術文化活動の振興**

**1 事業の概要**

府中市美術展、広島県美術展、県民文化祭の開催や公民館主催の事業などを通し、市民の芸術文化の振興を図る。

**2 事業の内容**

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 市民の芸術文化の振興を図る
- (3) 手段 府中市美術展、広島県美術展、県民文化祭の開催や公民館主催の事業を行う
- (4) 今後の課題
  - ア 各中学校、高校に働きかけ、市美展の出品数、特に、中高生の出品を増やしていくこと
  - イ 「街かど芸術推進事業」をより多くの市民に周知し、出品者と借用者を結ぶ、実効性のある取組みを行う
- (5) 事業費(人件費含む) 2,314千円

**3 平成26年度における取組状況**

| 指 標 名    | 実 績    | 指標名の説明 |
|----------|--------|--------|
| 市美展の開催日数 | 15日    | 延べ開催日数 |
| 市美展の参加者数 | 2,485人 | 延べ参加者数 |

**4 評価結果指摘事項**

**(事業改善)**

市美展の企画内容、他のイベントとの同時開催や開催時間の変更、運営形態の改善の検討を行うことが必要である。

## 府中市生涯学習まちづくり出前講座

### 1 事業の概要

市民と行政が一体となったまちづくりを進めていくため、学習の場を講座として開設し、市職員が講師として出向く出前講座として実施する。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 市民に市政について理解していただき、市民と行政が一体となったまちづくりを進めていく
- (3) 手段 市職員が講師として地域に出向き、講座を実施する  
利用者減少対策として、講座メニューの見直しを図り、講座のタイトルを市民に分かりやすく、馴染みやすくし、また、時代のニーズに合った講座などを加えた
- (4) 今後の課題  
前年度に比べ、大幅に受講者数が減少した。従来どおりの広報では十分な効果が得られないため、学校での活用促進等、広報活動をより充実させることが必要
- (5) 事業費(人件費含む) 117千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名    | 実績   | 指標名の説明   |
|--------|------|----------|
| 講座開設数  | 25回  | 講座の開設数   |
| 講座受講者数 | 762人 | 延べ講座受講者数 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

他団体も同じようなメニューを実施しており、市民から見れば同じような物に捉えられる。老人大学の利用、市民ニーズに沿ったタイムリーな内容の検討をすることや、学校での利用拡大のため、学校教材単元とメニューのつながりを示す等の工夫も必要である。



## 府中市生涯学習センター活用推進事業

### 1 事業の概要

生涯学習の振興を図るため、中核施設である生涯学習センターの主催講座の充実及び利用の促進を行う。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 市民に生涯学習センターの主催講座への参加や施設の利用をしてもらうことにより、生涯学習の振興を図る
- (3) 手段 生涯学習センターの講座の充実及び利用の促進を図る  
子どもスポーツクラブ等主催講座参加者が、前年度より460名増加
- (4) 今後の課題  
市民のニーズに応じた講座を選び、良質な講師を選定し、講座を実施しているが、さらなる講座の充実が必要である
- (5) 事業費(人件費含む) 2,955千円

### 3 平成26度における取組状況

| 指標名      | 実績      | 指標名の説明     |
|----------|---------|------------|
| 主催講座開設数  | 797回    | 講座の延べ開催数   |
| 主催講座参加者数 | 16,871人 | 講座への延べ参加者数 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (目的達成)

生涯学習センターの管理の委託拡大を検討する。センターがカルチャースクール化しないよう、学ぶことへの「きっかけづくり」であることを再認識し、独自講座を実施すること。

## 下川辺・南・府中・諸田・岩谷・栗生・上下公民館整備事業

### 1 事業の概要

老朽化が進んでいる地域の身近な学びの拠点としての市内各公民館の整備を4年計画で行う。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 地域住民
- (2) 目的 老朽化が進んでいる各公民館の整備を行う
- (3) 手段 老朽化が進む公民館の改修・整備
- (4) 今後の課題 公民館の環境整備の充実
  - ア 高齢利用者のために、バリアフリー化
  - イ 耐震化
  - ウ 消防設備の不備等の修繕
  - エ パソコン等の備品整備
- (5) 事業費(人件費含む) 2,303千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名    | 実績   | 指標名の説明 |
|--------|------|--------|
| 修繕公民館数 | 12館  |        |
| 修繕箇所   | 18か所 |        |

### 4 評価結果指摘事項

#### (現状維持)

多くの公民館が避難所に指定されていることもあり、府中学びプランに沿って、安心安全な施設管理を行っていくため、施設のバリアフリー化、消防設備指摘箇所等の修繕に取り組む。府中市全体の公共施設の修繕計画の中での位置付けに基づき、防災拠点としての役割も備えるような有効的な修繕を行っていく必要がある。

## 地域の人材を生かした学習機会の充実

### 1 事業の概要

府中市子ども育成協議会、府中市PTA連合会、府中市女性連合会などへの指導や支援を行い、地域のリーダーとして育成を図る。

また、貴重な体験、豊かな知識及び優れた技術などを有し、社会参加に意欲のある人材を登録し、その活用を図ることにより、府中市の生涯学習を促進することを目的に、府中市生涯学習支援人材バンクを平成23年度に設置し、社会教育団体活動の充実を図る。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 社会教育団体の構成員、市民
- (2) 目的 地域のリーダーや生涯学習の指導者の育成を図り、生涯学習を促進する
- (3) 手段 社会教育団体の指導や支援を行い、地域のリーダーとして育成を図る  
また、平成23年度に設置した生涯学習支援人材バンクの活用により、生涯学習促進の担い手を育成する
- (4) 今後の課題  
それぞれの団体が、構成員の高齢化や構成員数の減少などの悩みを抱えており、団体の活性化が必要である
- (5) 事業費(人件費含む) 1,996千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名          | 実績  | 指標名の説明 |
|--------------|-----|--------|
| 社会教育団体への対応回数 | 60回 | 会議の開催数 |
| 社会教育団体の活動回数  | 50回 | 団体活動回数 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

社会教育団体が、段階を追って自主的な運営ができるよう、役員や指導者に対する育成支援を行う必要がある。

## スポーツグループ・スポーツリーダー育成事業

### 1 事業の概要

スポーツ活動を推進するリーダーの育成やスポーツの機会の提供によって、市民のスポーツ活動を支援するとともに、便利で利用しやすいスポーツ施設の環境整備を図り、健やかな身体を育てる生涯スポーツ活動を推進する。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 多様な市民が参加できるスポーツの振興
- (3) 手段 スポーツグループやリーダーの育成に向けた講習会等の実施によるスポーツの普及を図るとともに、総合型地域スポーツクラブを支援しスポーツイベントを開催する
- (4) 今後の課題  
総合型地域スポーツクラブ新規設立支援  
スポーツ推進委員の活動機会充実  
豊かなスポーツライフの実現
- (5) 事業費(人件費含む) 841千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名     | 実績  | 指標名の説明              |
|---------|-----|---------------------|
| 講習会実施回数 | 11回 | スポーツ推進委員・スポーツクラブ研修会 |
| 参加者数    | 86人 | スポーツ推進委員研修会等参加者数    |

### 4 評価結果指摘事項

#### (目的拡大)

府中市スポーツ推進計画の策定に向け取組むとともに、地域でスポーツ研修会の開催ができるような、地域からスポーツ推進委員を選出し地域のリーダーとして育成する等工夫が必要である。

## 府中学びフェスタ

### 1 事業の概要

保育所・小中学校・高校の児童生徒から公民館サークル・町内会・女性会・老人クラブなど幅広い層から参加し、学校・家庭・地域社会が連携することで、明日の府中市を担う子どもたちを育み、地域社会の振興に主体的に参加する人づくりを目的とした「府中教育の日」としての一大イベントである。

メイン会場のウッドアリーナの他に第一中学校や府中市歴史民俗資料館など周辺の施設でも様々なイベントを行う。

### 2 事業の内容

- (1) 対象 市民
- (2) 目的 「学び」の楽しさを発見するとともに、府中市の教育、生涯学習に理解と関心を深めてもらう
- (3) 手段 府中市教育全般に関わるイベントを開催する
- (4) 今後の課題  
イベントの企画や運営に、さらに民間企業やNPO法人等の知恵や活力を取り込める体制を整備する。
- (5) 事業費(人件費含む) 6,192千円

### 3 平成26年度における取組状況

| 指標名     | 実績      | 指標名の説明     |
|---------|---------|------------|
| 事業の開催日数 | 2日      |            |
| 参加者数    | 33,000人 | 前年比1,500人増 |

### 4 評価結果指摘事項

#### (事業改善)

教育の一大イベントとして、市民の間に定着しつつある。また、平成26年度は、行政主導型のイベントから住民主体型へ転換していく第一歩を踏み出せた。参加者からのアンケート調査を実施し、市民の意見を取り入れたメニューを企画し、更なるイベントの工夫を図る。

1 教委総務課関係

- (1) 通学バス運行や路線バス利用は、遠距離通学の児童生徒の通学手段として、安全・安心・確実に運行されることが、大切な教育条件と考えられる。  
運行の効率性も考慮しながら、関係機関との連携を密にし、気象状況の変化に対応し、適切な対応を望む。また、バス利用の児童生徒の体力低下が懸念されるので、バス停までの可能な範囲での徒歩利用も取り入れるなど、工夫を凝らしてほしい。
- (2) 府中市では、小中学校全児童生徒にセンター方式により完全給食が実施されており、栄養面の充実や食育指導も出来、児童生徒の心身の発達上好ましい状況である。また、地産地消率の向上の取組を推進することで、生産者と子どもたちが身近な学校給食を通して、食の大切さ、ありがたさを学べる契機となっている。本来は家庭での食育指導が望ましいが、食べ残しの調査などの情報を共有化することにより、児童生徒の食育指導の充実が図れるものと期待する。
- (3) 給食センターの設備厨房機器の点検・修繕が定期的に行われている。また、集中調理のため、清潔面の徹底や異物混入の点検など、安全面に十分に配慮しながら、日々の調理を実施し、児童生徒が安心して食べることができる給食の提供ができるような事業の推進を望む。
- (4) 府中市歴史民族資料館については、壁の亀裂等の応急的な修理と、将来的には、移築し保存公開活用を行う改修事業がある。府中市の歴史的・文化的な環境の充実をめざし、子どもたちが郷土への愛着と誇りがもてる環境づくりが必要である。
- (5) 備後国府跡を中心とした府中市の埋蔵文化財の発掘調査、整理調査、出土品の収蔵・展示、普及・研究活動を行い、府中市民が府中らしさを大切にし、郷土への愛着をもてるような事業を進めていただきたい。また、平成27年度の国史跡指定に向けた取組を継続していただきたい。

## 2 学校教育課関係

- (1) 外国語指導助手（ALT）の指導により、ネイティブな外国語に接することができ、府中市のような外国語に接する機会が比較的少ない環境では、非常に効果的な指導法である。

将来的な小学校での英語必須化に向け、ALTを増員し、地域の人材に協力を求めて、生きた外国語に早い時期から触れる機会をつくり、これからのグローバル社会を生きていく児童生徒のために、今後も、外国語指導助手の人材確保に努めていただきたい。

- (2) キャリア教育の重要性は、現在社会的にも認識され、市内中学校2年生全員を対象に、事業所の協力のもと継続して実施できている。

この貴重な職場体験を通じて、職業観や社会観、マナーや挨拶・言葉遣いを早い時期から身に付けることで、社会に対応する能力を習得することができる。

キャリア教育の目標達成のために、事前事後の取組も含め、今後も、一層の内容充実を期待している。

- (3) 適応指導教室は、通室児童生徒の学校復帰と社会的自立の支援が目的である。不登校児童生徒が増加している中で、複雑な個々の状況に応じたきめ細かな支援が必要である。指導教室と学校・家庭との連携を密にし、原因の究明を行い、学校復帰につなげて欲しい。

- (4) 小中一貫教育は、府中市では10年が経過し、各学園で推進会議や協議会を定期的に行い、授業改善や、コミュニティ・スクールなど地域を生かした実践を行い、学力や体力の向上に確実に成果が現れている。

各学園間で実践交流をしながら、互いに高めあう体制づくりが必要である。小中一貫教育とコミュニティ・スクールの連携を模索し、地域資源の人材を含めた掘り起しを行い、府中市らしい教育につなげて欲しい。

また、全国に先駆けて取組んだ府中市の小中一貫教育を検証し、外に向けて発信することで、新たなステップアップにつながるのではないかと考える。

- (5) 学校図書館教育では、図書館司書の適切な配置や豊かな蔵書、図書館に行きたくなる環境づくりが必要とされる。読書離れの拡大が懸念される中で、子どもたちが本を手取る習慣作りのために、興味の湧く図書の購入や、図書館司書の増員など、読書環境づくりを今後も継続して推進されるよう期待する。

- (6) 不審者情報の配信については、子どもの安全確保のために有効な手段である。個人情報漏洩防止に努めながら、迅速で正確な情報提供を求める。

- (7) 放課後児童クラブは、保護者の就労のため必要な制度であり、利用する児童の増加、対象も3年生から6年生までに拡大されたことにより、施設の環境整備や指導員の増員が必要である。

児童の生活指導や学習指導も必要になることから、専門的な知識を持つ指導員の適切な配置が必要であると思われる。

### 3 生涯学習課関係

- (1) 芸術・文化活動の振興について、府中市の地域に残る文化の伝承に取り組むことは、将来のまちづくりを考える上で欠くことのできない重要な分野である。市美展、県美展等の開催や、各種団体の活動や発表会を通して、市民がともに集い楽しみ、心豊かな生活が送れる場が提供されることは、生涯学習の場として有意義な事業である。

芸術・文化活動に対する市民の関心を高めるために、市内の小中高等学校と連携し、若者の市美展・県美展などへの作品の応募を増やし、底辺の拡大につながる施策を取っていただきたい。

- (2) まちづくり出前講座は、市民と行政が一体となってまちづくりを進めていくために、市職員が講師として市内に出向き実施している。前年度と比較し、大幅に受講者が減少している原因をアンケート等実施して分析し、受講者のニーズにあった講座メニュー開設など、検討する必要がある。
- (3) 生涯学習センターの活用については、応募者の少ない講座は利用者のニーズとマッチしていたかどうか検証し、より利用者のニーズに沿えるような講座の開設をしていただきたい。
- (4) 近年の高齢化社会において、地域の公民館は、集まって学んだり体力づくりに取組んだり、様々な活動が幅広く行われ、生きがいに通じる大切な場であり、防災拠点としても利用される施設であるので、安全で安心して利用できるよう、環境整備に力を注いで欲しい。
- (5) スポーツグループ・スポーツリーダーの育成事業においては、指導者研修会を開催するなど、市内の指導者の育成に取り組まれています。様々なスポーツの経験者の中から新たな指導者の発掘にも努めていただきたい。
- (6) 「府中学びフェスタ」は、平成26年度は第4回を迎え、府中市を代表するイベントのひとつとして、来場者も2日間で3万人を超え、市民の学びの場として成長してきている。参加者は、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学、公民館サークル、女性会、町内会、老人クラブ、NPO団体と幅広く、26年度は企業から協賛金もいただき、地域社会で一体となって、明日の府中市を担う子どもたちと一緒に育み育てようと盛り上がってきている。発表型のイベントに加え、体験・参加型も充実してきており、子どもたちが将来の目標の発見に繋がる学びができるように、地元企業や近隣の高校・大学の参加や出展に積極的に協力いただけるよう、働きかけをお願いしたい。ここまで「学びフェスタ」を成長させ、成果を上げることができた教育委員会の功績は大きい。毎年の企画・運営、資金調達など様々な工夫を凝らし、苦勞も多いと思うが、今後も実り多い「学びフェスタ」の継続を望んでいる。



府中市教育委員会では、事務事業評価制度を導入し6年目を終えたが、平成26年度の評価については、第3次府中市長期総合計画の第3期実施計画内の事業で、教育委員会の主要な19事業について点検・評価を行った。概ね妥当なものであるとの評価となったが、事業改善あるいは目的拡大、目的絞込等が必要な事業も見受けられた。

このたび、平成27年4月に60年ぶりに「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が大改正されました。新たな教育委員会制度で運営されることになっていくが、教育行政の継続性は変わらないので、事業課題は今後も継続検証し、外部有識者の貴重な意見を参考にし、今後の事業展開につなげていきたい。